



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	D-20-3
事業名	津波避難路整備事業（河原子北浜スポーツ広場避難路整備事業）
事業費	総額 47,662 千円（国費 35,747 千円） （内訳：工事費 37,897 千円、設計費 9,765 千円）
事業期間	平成 25 年度～平成 26 年度
事業目的	当該施設出入口は南側に 1 箇所のみであり、災害発生時に敷地内を流れる桜川より北側に位置するターゲットゴルフコースやドックラン利用者を安全かつ迅速に高台へ避難できるように、東日本大震災により一部被害を受けた北側の避難路を再整備する。
事業地区	河原子地区
事業結果	<ol style="list-style-type: none"> 1 工事延長 L=80m、避難路幅員 W=2.0m 2 階段工 階段手摺 40m、転落防止柵 43m、既存構造物撤去 7 m³ 3 擬木階段工 擬木手摺 17m、擬木階段 35 段 4 法面工 A=910 m² （吹付砕工 A=410 m²、鉄筋挿入工 L=450m、植生工 A=500 m²） 5 付帯工 車止めポスト 2 箇所、注意看板 1 枚、プラ擬木転落防止柵 46m
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【整備前】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【整備後】</p>  </div> </div>
事業の実績に関する評価	<p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <p>当該施設は、河原子海岸と崖に挟まれた南北 750m の細長いスポーツ広場であり、施設出入口は南側に 1 箇所であるため、避難路を整備することにより、津波発生時等に、施設利用者、海岸利用者等が安全に避難することが可能になった。</p> <p>施設利用人数の平均は年間 11,765 人で、毎月 100 人規模の定例大会が開催されている。また、音楽フェスなどイベント開催時には最大で 9,000 人（延べ人数）の利用があり、利用者を迅速に避難させるための避難路整備は有効である。</p>

② コストに関する調査・分析・評価

本事業は崖地にコンクリート階段形状の避難路を整備したものであり、鉄骨造りのタワー式階段より経済性に優れている。また、崖地法面の整備については、もたれ式擁壁やグラウンドアンカーによる補強土壁と比較して、安定計算にて施工可能な吹付け砕と鉄筋挿入工を採用した。更に用地許容の範囲で安定勾配での法面を施工し、適切な事業コストを図っている。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

平成 25 年度 測量、地質調査、設計業務委託
 平成 26 年度 整備工事

復興事業のため円滑な事業執行が求められることから、設計委託においては、測量、地質調査を含めた契約で、設計に必要な基礎データを一括して収集し未執行の事業期間を削減している。また、崖上の土地所有者（日立アプライアンス（株））と事前に調整し、滞りなく工事を完了した。

事業担当部局

茨城県日立市教育委員会スポーツ振興課 電話番号：0294-22-3111（内線 639）

【河原子スポーツ北浜広場敷地図】

